

当教員名] Rosalia Martinez	対象学年	2	対象学科	全科共通
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概要>

英語によるコミュニケーションの必要性は高まる一方であるが、日本人の英語に対するコンプレックスと外国人と対面することへの恐れは根深いものがある。当クラスではこの問題を乗り越え、英語によるコミュニケーション力を育てるために、そのために必要な知識や方法を、一切日本語を用いずに体験的に学ぶことをねらいとする。(映画、ビデオ、ミュージック、詩、絵画、など様々な素材を用いて講義を行うことにより、学生は視覚的、感覚的に容易に理解することが可能となる。) 1年次に学習したコミュニケーションの基礎をさらに発展させ、様々な状況設定や課題に対応して、質問―返答・感想・意見・ディスカッションなどを英語で行えるようになることを目標とするが、さらに欧米の文化・習慣・価値観について、日本と対比させながら、外国人の視点から学ぶことを通して異文化理解を深め、合わせて日本や日本人についても考えるきっかけになることを期待する。

<目標>

4. 恐れずに外国人とのコミュニケーションに挑戦する態度と英語への関心を育てる。
5. 欧米の文化・習慣・価値観について理解する。
6. 英語の辞書の使い方に慣れる。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1~2	異文化コミュニケーションのポイント	相手の文化や価値観の違いを受け入れることの大切さについて学ぶ。	講義
3~6	英語によるコミュニケーション演習①	政治・経済・教育などの新聞記事を取り上げ、自分の意見を日本語作文→英作文し、英語でディスカッションしあう。	演習
7~8	外国人から見た日本	ゲストスピーカーによる体験報告を聴き、日本人について考える。	講義と質疑
9~13	英語によるコミュニケーション演習②	自分の将来進む専門分野について、夢や希望、現在考えていることなどを日本語で作文→英作文し、個々に英語のスピーチを行い、質疑に答える。	演習
14	まとめ	これまでの学習のふりかえりとまとめ	講義

【評価方法】

出席・実習の態度・小テスト・定期試験等から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

出席を重視します。また授業中は受け身でなく、自らすすんで参加し、考え、質問する積極性を期待します。英和及び和英の辞書を必ず携帯すること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書				
参考書				
その他 (プリント等)	テキストは使用しません。オリジナルのプリントや新聞・雑誌、映画、ビデオ、詩などを必要に応じて使用します。			